

大木町図書・情報センター



図書館の扉を開けると、木目調のやさしい本棚が迎えてくれ、ふんわりとコーヒーの香りが漂ってきます。中央には、2階の赤ちゃん・児童・中高生コーナーへと続く木の階段があり、その先からは親子や子どもたちのにぎやかな声が聞こえてきます。

お母さんが絵本を読み聞かせたり、布の絵本やフェルトのおもちゃで子どもと遊んだりする姿も見られます。奥のティーンズルームでは、中高生がカフェ風の椅子に座って友だちと談笑したり、本を選んだり。高校のパンフレットを手に、「なるには本」を読みながら学習する姿もあります。2階中央の畳コーナーでは、エッセイや大活字本を手に、ゆったりとくつろぐことができます。

1階の新聞・雑誌コーナーには、開館と同時に訪れる利用者が、コーヒーの香りに包まれながら静かに佇んでいます。一般資料コーナーでは、新刊や文庫、小説、専門書などを手に取る人々の姿が見られます。

奥には、北原大莞さん、加島香清さん、松永伍一さん、富安俊栄さんなど、郷土ゆかりの人物を紹介するコーナーも設けられています。